

G20大阪サミットにおいて安倍総理大臣からG20各国 及び招待国首脳並びに国際機関の長へ携帯箸「八四郎」が 贈呈されました。

箸（はし）製造販売の兵左衛門（本社：福井県小浜市、代表取締役社長：浦谷剛人）は、2019年6月28日（金）から6月29日（土）、大阪府大阪市「インテックス大阪」で開催されたG20大阪サミットにおいて、G20各国及び招待国首脳並びに国際機関の長へ福井県若狭地方特産の伝統工芸品である塗箸〔携帯箸「八四郎」〕を贈呈（計37セット）しましたのでお知らせします。

寄贈した箸について

携帯用塗り箸〔品名「八四郎（はしろう）」〕と、専用ケース〔品名「巧クラフト（たくみくらふと）」〕、専用箸置きセット。携帯用塗り箸と専用ケースには「G20 OSAKA SUMMIT 2019」のロゴマークを刻印しています。高度な加工技術によって実現した「持ちやすさ」「箸先のすべりにくさ」「食事中に緩まないジョイント」が特徴。下塗りから仕上げにいたるまで漆で塗装していますので、塗り直しながらかくお使いいただけます。



※これらの画像データが必要な場合は下記お問い合わせ先へご連絡ください。

和食文化における箸の重要性を発信

2013年、和食がユネスコ無形文化遺産に登録されました。

弊社 兵左衛門が考える「和食」とは、豊かな四季の恵みである食材や、料理法もさることながら、最も重要なのは「感謝の心」と「箸」であると考えます。箸は単に道具としてだけでなく、古くより大切な人の健康を祈願し、縁を結ぶ道具として考えられてきました。お箸が日本全国の多様な食文化を「和食」として一つに結ぶように、世界がお箸で一つに結ばれますようにとの願いと感謝を込めて、携帯箸セットを寄贈いたしました。

本件に関するお問い合わせ

株式会社 兵左衛門 東京支店 → TEL:03-5822-0840 ✉ tokyo@hyozaemon.co.jp 担当：浦谷（うらたに）

「お箸は食べ物です。」

「お箸は食べ物です。」を合言葉にして、自然の木、自然の塗料にこだわり、より安心して安全なお箸作りを心掛けています。

毎日口に入れるお箸だからこそ、兵左衛門は責任と使命をもって真摯にお箸作りに取り組んでいます。

※兵左衛門では、直接口に入れる箸先には人体に有害な成分（合成化学塗料）を一切使わない「ヴァージン漆」を使用することを徹底しています。



概要

| | | |
|-----|---|---|
| 会社名 | 株式会社 兵左衛門 | http://www.hyozaemon.co.jp/ |
| 創業 | 大正10年 | |
| 代表者 | 浦谷 剛人 | |
| 事業所 | 本社・製造部：福井県小浜市甲ヶ崎31 東京支店：東京都台東区柳橋2-11-6（ショールーム併設） 直営店舗：『兵左衛門 広尾店』 東京都渋谷区広尾5-3-9 『兵左衛門 歌舞伎座店』 東京都中央区銀座4-12-15 歌舞伎座木挽町広場 『兵左衛門 グランフロント大阪店』 大阪府大阪市北区大深町4-20 グランフロント大阪 南館5F 『兵左衛門 札幌パセオ店』 北海道札幌市中央区北6条西2丁目 札幌パセオ センター地下1階 他 | |

主な活動内容



アオダモ資源育成を通じ、野球界と共に環境保護に取り組んでいます。



1998年からお箸知育教室を全国各地で開催し歴史や文化、作法の継承を行っています。

2014年には教室参加者が合計10万人を突破しました。



箸文化に関して国際的に研究、意見交換を行う内閣府NPO法人国際箸文化協会を立ち上げました。



2008年7月、洞爺湖サミットにて各国首脳や要人への記念品として贈呈されました。



「第60回全国植樹祭2009ふくい(6/7)」において天皇・皇后両陛下が、お食事の際に兵左衛門のお箸をお使いになられました。



2009年2月24日の日米首脳会談におきまして、オバマファミリーへ兵左衛門製携帯箸「八四郎」を贈呈いたしました。